

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58-3931

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 01 D 53/22  
F 16 J 15/06

識別記号 庁内整理番号  
7917-4D  
7712-3J

⑬ 公開 昭和58年(1983)1月11日

審査請求 有

(全 2 頁)

⑭ ガasket

⑯ 実 願 昭56-97083

⑰ 出 願 昭56(1981)6月30日

⑱ 考 案 者 高宮真市

東京都足立区千住5丁目30番3

号新高理化工業株式会社内

⑲ 出 願 人 新高理化工業株式会社

東京都足立区千住5丁目30番3号

⑳ 代 理 人 弁理士 磯野道造

㉑ 実用新案登録請求の範囲

ろ過膜、イオン交換膜等適宜の膜の張着用孔が穿設され、かつ、上面と底面とが断面コ字型に一体形成されてなり、該上面と底面との間に上記膜を挟着しうるようにしたことを特徴とするガasket。

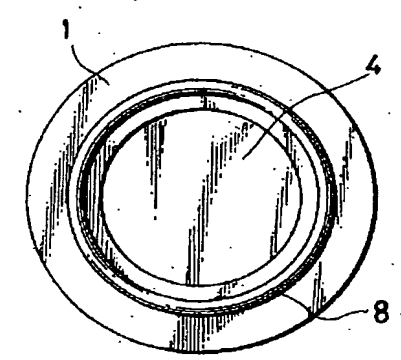
図面の簡単な説明

第1図は本考案を実施したガasketの平面図、

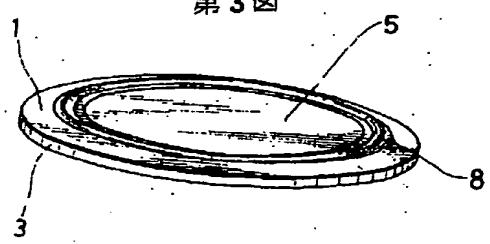
第2図はその斜視図、第4図はその横断面図、第3図は、本考案を実施したガasketにろ過膜を張着した状態の斜視図、第6図はその拡大横断面図、第5図はその使用状態を示す斜視図である。

1…上面、2…底面、3…側壁、4…ろ過膜等適宜の膜の張着用孔、5…ろ過膜、6…ロート、7…環状突起、8…環状隆起。

第1図



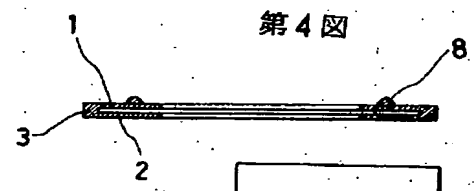
第3図



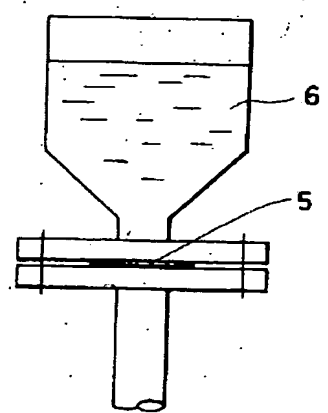
第2図



第4図



第5図





実用新案登録願



請

昭和 56 年 6 月 30 日

特許庁長官殿

1. 発明の名称

ガスケツト

2. 考案者

住所 東京都足立区千住 5 丁目 30 番 3 号

氏名 新高理化工業株式会社内

高 富 真 市

(外 名)

3. 実用新案登録出願人

住所 東京都足立区千住 5 丁目 30 番 3 号

(所在地)

氏名 新高理化工業株式会社

(名称)

(代表者)

(国籍)

代表者 高 富 真 市

(外 名)

4. 代理人

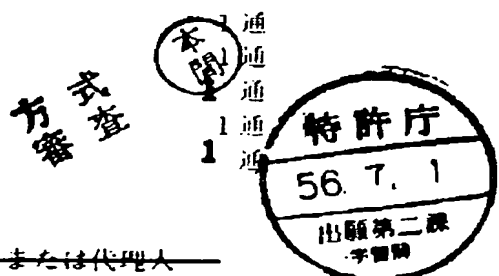
住所 〒 101 東京都千代田区東神田 2 丁目 1 番 11 号

氏名 第 6441 号 弁理士 磯 野 道 造

電話東京(03)863-5855(代表)~7-866-9320  
866-1638

5. 添付書類の目録

- (1) 明細書 ✓
- (2) 図面 ✓
- (3) 委任状 ✓
- (4) 願書副本
- (5) 出願審査請求書 ✓



6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

3931 / 56 097083 / 346

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

ガスケット

### 2 実用新案登録請求の範囲

ろ過膜、イオン交換膜等適宜の膜の張着用孔が穿設され、かつ、上面と底面とが断面コ字型に一体形成されてなり、該上面と底面との間に上記膜を挟着しうるようにしたことを特徴とするガスケット。

### 3 考案の詳細な説明

本考案は漏れがなくシール性能の良好なガスケットに関する。

薬品・化学品特殊気体等をろ過あるいは流出入させる場合等においては、何よりろ過部分や継手部分より外部への漏洩がないことが要求される。

従来は、ガスケットとろ過膜等を重ねたり、ガスケットとガスケットとの間にろ過膜を挿んだ後に、Ｏリング等を使用してシールしている。しかし、これでは完全にシールすることは不可

(1)

能であり、概く少量であつても外部に漏れては困るもの例えば毒性の強い化学品・薬品、放射性の液体又は気体等のろ過等に使用するガasketとして充分なものとはいえなかつた。そこで、本考案は上面と底面とが断面コ字型に一体形成され、該上面と底面との間にろ過膜等を挟着しうるようにして、上記弊害を除去するとともに、多目的に使用可能なガasketを提供するものである。以下本考案の一実施例を図面に基づいて説明する。第1図は本考案を実施したガasketの平面図、第2図はその斜視図、第4図はその横断面図である。ガasketは、上面1、底面2、側壁3とろ過等適宜の膜の張着用孔4より成る。

上面1と底面2は側壁3を介して断面コ字型に一体形成され、その内方にはろ過膜等適宜の膜の張着用孔4が穿設されている。上面1及び底面2の幅、張着用孔4の大きさ等は使用する箇所、膜等に応じて適宜選択すれば良い。その材質は特に限定はなく、各種樹脂・金属等より

(2)

選択すれば良い。また、その加工方法は射出成形、旋盤加工等でよいが特に限定はなく、数量材質に応じた方法をとれば良い。次に上記ガスケットの上面と底面との間にろ過膜5等を挟着し、第3図のようにする。挟着する膜はろ過膜に限らずイオン交換膜等挟着可能なものであればどのようなものであつても良い。なお、ガスケット製作後にろ過膜5等を挟着するのではなく、その製作時にろ過膜等を一体として組み込み、使い捨てのガスケットとしても良い。使用に際しては、ろ過膜5等を張着したガスケットをその使用箇所に装着する。第5図はその使用状態の一例を示すものであり、ポート6内の液体をろ過するものである。すなわち、第6図の拡大断面図に示す様にろ過膜5の張着されたガスケットはフランジ等により、上面1と底面2が密着するようにして装着されている。また、シール性能を高めるために、ガスケットの上面1と底面2との間に環状突起7を第6図に示す如く所望敷設けてもよい。さらに、上面1ある

(5)

いは底面 2 の外側には、装着される箇所の形状に応じて環状隆起 8 を第 2 図に示す如く突設しても良い。

以上の構成のガスケットによればろ過膜 5 等が断面コ字型に一体形成されたガスケットに密着した状態で挟着されるため、外部への漏れのないシールが可能である。また、このガスケットの形状を利用して個々の完成されたフィルターとしての利用も可能であり、その用途に応じて多目的に使用できるものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本考案を実施したガスケットの平面図、第 2 図はその斜視図、第 4 図はその横断面図、第 3 図は、本考案を実施したガスケットにろ過膜を張着した状態の斜視図、第 6 図はその拡大横断面図、第 5 図はその使用状態を示す斜視図である。

- |         |                   |
|---------|-------------------|
| 1 … 上面  | 2 … 底面            |
| 3 … 側壁  | 4 … ろ過膜等適宜の膜の張着用孔 |
| 5 … ろ過膜 | 6 … ロート           |

(4)

7 ... 環状突起

8 ... 環状隆起

実用新案登録出願人

新高理化工業株式会社

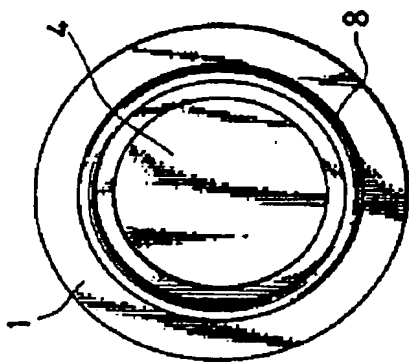
代理人 井 堀 士

磯 野 道 達

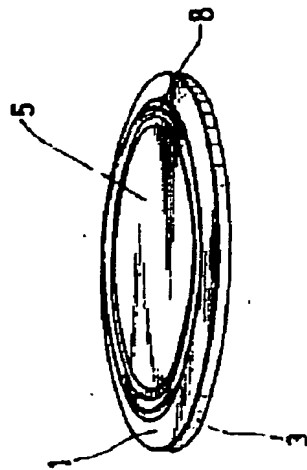
(5)

351

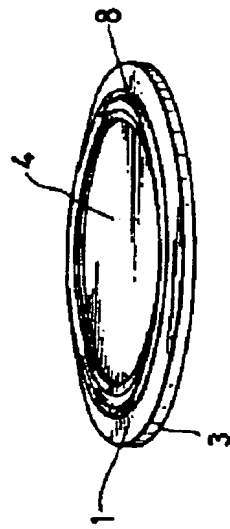
第 1 図



第 3 図



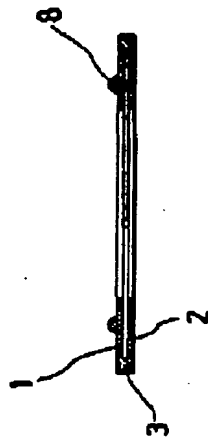
第 2 図



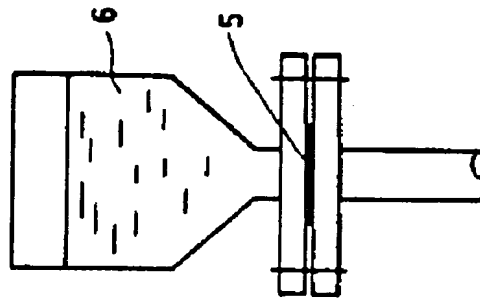
新 高 理 化 工 業 株 式 会 社  
 代 理 人 井 理 士  
 磯 野 道 造  
 352



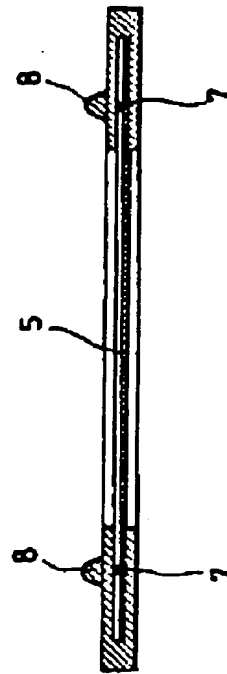
第 4 図



第 5 図



第 6 図



1/2

新 高 理 化 工 美 株 式 会 社  
代 理 人 井 理 士 磯 野 道 造